

# 平成30年度 小学生議会

問 教育総務課 ☎内線3014



8月17日、市議会議場で「平成30年度小学生議会」を開催しました。市内各小学校から2人ずつ、計16人が参加し、市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が投げかけられ、市長および教育長が答弁しました。

牛久市の将来を担う小学生議員の皆さんの質問、それに対する市長、教育長からの答弁の概要を紹介します。

## 市民の声を取り入れたまちづくりについて



このの ゆうな  
**河野 友菜さん** (向台小学校5年)

まちづくりに関して、私たち子どもの意見はどのような場で聞いていただけますか。また、対立した要望が出された場合、どのように対応しているのか教えてください。

**市長答弁** この「小学生議会」のほか、手紙・電子メールや電話などで誰でも送れる「市政へのご意見・ご要望」で、大人だけでなく子どもたちからも意見を受け付けています。また、対立する意見が出された場合は、それぞれの意見を市のまちづくりの考えと照らし合わせ、実現できる意見なのかを判断し、その結果を意見者にきちんと説明しています。

## スポーツ施設の整備について



よしだ はるき  
**吉田 遥希さん** (奥野小学校5年)

今後一般の人が使えるテニスコートを増設する計画はありますか。また、人口の少ない奥野地区に新しいスポーツ施設を作って多くの人に足を運んでもらうのはいかがでしょうか。

**教育長答弁** 平成32年開校のひたち野うしく中学校に人工芝のテニスコートを造り、授業で使わない時間帯は地域の方へ開放する予定です。新しいスポーツ施設の建設は、現在のところ未定です。市のスポーツ施設は建設から25年以上が経過し、老朽化した施設が多くあり、改修・修繕に大きなお金が必要です。スポーツ施設を市民が安全・快適に利用できるよう、改修や修繕を優先的に進めていますので、ご理解をお願いします。

## 子どもの地震対策について

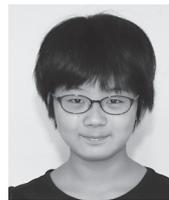


のっ はゆう  
**笹津 葉祐さん** (岡田小学校6年)

大人のいないときに大きな地震が起きた場合は、どのように子どもだけで避難すればよいか、市の対応をお聞かせください。

**市長答弁** 市では各学校敷地内と通学路の危険箇所緊急調査を実施しました。今後も随時調査を行い、情報提供していきます。なお、自分の命を自ら守れるように、普段の生活の中で危険な場所などを意識し、小さな揺れを感じたら、素早く安全行動をとる習慣を身につけてください。また、日頃の備えが災害を乗り越えるための秘訣です。災害への興味・関心を持ち続け、起こり得る大地震に備えてください。

## 地域と連携した特色ある学校づくりについて



いがり はるな  
**猪狩 悠和さん** (向台小学校6年)

市では今後、ALTの先生を増やしたり、「おくのキャンパス」のように外国との交流を各学校で進める計画はありますか。また、地域と連携した学校づくりについて、市のお考えをお聞かせください。

**教育長答弁** 来年度には市内全ての小学校で5・6年生は週2時間の外国語科の授業を行うことになり、それに伴って、外国人のALTの先生も増えています。また、市では、保護者や地域の意見を学校運営に反映し「地域とともにある学校づくり」を進めるために、コミュニティ・スクールの仕組みを、今年度末までに市内の全小中学校で導入したいと考えています。



## 目や耳が不自由な方への取り組みについて



みぞい ゆうと  
**溝井 悠斗さん** (奥野小学校6年)

市では目や耳が不自由な方が安心して暮らし続けられるために、どのような取り組みを行っているのか、また将来的にどのような計画があるのか教えてください。

**市長答弁** 市では、体が不自由な方の自立や社会参加、日常生活を支援するため、身体障害者手帳を交付しています。身体障害者手帳を取得すると、さまざまな割引制度や障がい福祉サービスを利用することができます。その他、市民向けの手話講習会などを毎年開催しています。今年度は、日常生活や災害時に必要な支援や配慮を周囲の人にお願いしやすくするため、「ヘルプカード」を作成する予定です。

## 若者への主権者教育について



こじま ゆうへい  
**小嶋 由平さん** (岡田小学校6年)

市として、私たちのようなこれから選挙権を得ていく若者に対して、どのような教育をしていこうと考えているのか、またどのようなことが大切であると考えているのかをお聞かせください。

**教育長答弁** 主権者教育とは、まさに、国民一人一人が政治に参加する権利を自覚し、実行することのできる力を育てるものです。そのためには、どのようにすれば住民の声が生かされるのかを学ぶことが大切になります。市の学校では、地域の身近な課題を理解し、その解決に向けて自分なりに考えるなど、現実の社会的な出来事を扱った教育を行っています。

## 子どもたちへの農業体験について



ひろせ しんたろう  
**廣瀬 心太さん** (ひたち野うしく小学校6年)

農業従事者の減少や後継者不足を改善するために、学校行事の一つとして、季節ごとに農業を体験してみるというのはいかがでしょうか。また、現在、市で農業を体験できるプロジェクトはありますか。

**市長答弁** 以前は、学校の授業で「うしく河童大根の収穫体験」を実施していましたが、残念ながらスケジュールの関係で、実施が困難な状況です。現在は、若い農業者グループが保育園や幼稚園でとうもろこし栽培の指導をしたり、ベテラン農家の方が学校と組んで農業体験をしたりしています。ご提案のようなプログラムの設置については、今後検討していきます。

## 学校備品の充実について



はしば まりあさん  
**橋場 まりあさん** (牛久小学校6年)

これからパソコンを使い始める下級生たちのためにも、使えなくなったパソコンを回収し、市で新品の購入を検討してほしいです。また、市の各学校の備品充実のために取り組んでいることはありますか。

**教育長答弁** 市内小学校においては、この夏に児童用タブレットパソコンを計400台を新たに整備し、秋ごろからは使えるようになります。また電子黒板の設置など、ICT機器の一層の充実を進めていきます。備品に関しては、全てを一度で買い替えることはできないので、緊急性や各学校のバランス、劣化具合などを考慮し、工夫しながら管理をしています。

## 海外の姉妹都市との交流について



しばもと ねね  
**柴沼 音寧さん** (ひたち野うしく小学校6年)

今後、小学生や市民の方々国際交流を身近に感じられるよう、どのような取り組みをしていくのか教えてください。

**市長答弁** 市は、ホワイトホース市、オレンジ市とは姉妹都市、グレーヴェ・イン・キアンティ市とは友好都市を結び、市民交流を深めるために、さまざまな取り組みを行っています。美術展で「キアンティ市と牛久市の子どもの絵画」展示を通じた、芸術分野での交流や、ホワイトホース市とは青少年団受け入れと派遣などの取り組みをしています。今後もこれらの交流を継続できるよう、インターネットや文通などで日常的な交流の方法を先方都市に提案していきます。

## 伝統文化継承の取り組みについて



いじま かなみさん  
**飯島 かなみさん** (牛久小学校6年)

市が主体となって能や狂言を学ぶ講座を開けば、伝統文化の継承がより一層促進されると考えています。今後、能や狂言を体験する計画を考えているのか教えてください。

**教育長答弁** 能・狂言を体験する講座の新たな計画はありませんが、現在行っている小中学校芸術鑑賞会の中で体験の機会を増やしていくように考えています。また、能と狂言だけでなく、今年度は、中学2年生を対象に歌舞伎鑑賞会を、小学5年生を対象に狂言・落語鑑賞会を実施予定です。さらに市では、伝統文化親子教室の開催支援や、イベントを通して伝統文化を広める取り組みもしています。

## 地球温暖化に対する取り組みについて



なかじま りゅうが  
**中島 隆我さん** (牛久第二小学校6年)  
市で行っている地球温暖化対策や、バイオマスを使った環境を守る対策を始めた経緯、そして今後も対策を続けるとしたらどんな具体的な展開をするのか教えてください。

**市長答弁** 市では新エネルギーの導入を進め、太陽光発電設備、電気自動車、照明のLED化、バイオディーゼル燃料(BDF)、木質ペレット製造事業を取り入れています。バイオマスタウン構想はエネルギーの地産地消を目的に始まりました。今後はBDFや木質ペレットの使用が二酸化炭素排出量を削減できる利点をアピールし、事業を拡大できるよう努めます。

## プログラミング教育について



ふるさわ しりゅう  
**古澤 志龍さん** (神谷小学校6年)  
学校のパソコンや新しいタブレット端末等の教育環境をどのように整備していきますか。またプログラミング教育は学校の先生が指導するのですか、専門家が指導するのですか。

**教育長答弁** 今年度、小学校にタブレットと大型の電子黒板を導入し、教室でもインターネットができる環境にします。これにより教室でもインターネットやプログラミングの授業を行えるようになります。また、プログラミング教育は担任の先生が指導できるよう、学習会を進めています。コンピューターを使った授業づくりについても専門家の協力を得て学んでいます。

## 市の道路整備について



おかの あやか  
**岡野 文香さん** (牛久第二小学校6年)  
利用している通学路の道幅を広げることにはできますか。また、安全に登下校できるよう周辺地域も含めた道路整備は今後予定されていますか。

**市長答弁** 利用している通学路は抜け道として利用されています。全ての道幅を広げることは困難ですが、これまでに車や歩行者がすれ違える待避所を設置しました。また、現在はその周辺の市道整備を進めています。新しい道路を整備することで新しい交通ネットワークができ、渋滞緩和につながり市内を通り抜ける車が分散され、周辺道路の安全性が高めることができると考えています。

## 国民体育大会への子どもたちの関わり方について



よむら ひろと  
**余村 洋斗さん** (神谷小学校5年)  
応援用の旗を作ったり、小学生が描いた市を代表するものの絵が入ったお土産を作ったり、僕たちのできることで国民体育大会に参加したいです。可能ですか。

**教育長答弁** 採用できるよう前向きに検討していきたいと思います。今、小学生が参加できるものは「花いっぱい運動」です。運動公園や駅を花で装飾し、市を訪れた人を迎えます。そして選手団を応援する「のぼり旗」の作成です。これは小中学校の皆さんに作成してもらい、試合会場に設置をします。これら2つのことは小学生の皆さんが大会へ参加したと実感できる活動になると思います。

## 自然環境の保全について



さかもと ひめ乃  
**坂本 ひめ乃さん** (中根小学校6年)  
市の活性化と環境保全の両立は難しいと思いますが、市としてどのような対策を取っているか教えてください。

**市長答弁** 開発を行う場合は、自然をなくすだけでなく、公園を作り、大きな道路に街路樹を植えるなど、開発に合わせて作り出した緑を配置しています。また条例により、大きい敷地の店舗は樹木や芝生などで緑化することになっています。開発されず残っている山林は市の条例で保全しているものもあります。市が行う工事ではできる限り自然環境を残すようにしています。

## 健康づくり推進への取り組みについて



ちようむら けいすけ  
**丁村 啓介さん** (中根小学校6年)  
市では働く大人たちが気軽に運動してもらうために何か対策を取っていますか。また、家庭で朝食摂取率を100%にするための市の取り組みをお聞かせください。

**市長答弁** 市ではいつでも誰でもどこでもできるウォーキングを推奨し、「ヘルスロード」を整備しています。毎年5月には「健康ウォーク」を開催し、健康づくりのためのウォーキングの実施を呼び掛けています。また、朝食摂取率100%へ向けては子どものころからの健康な生活習慣の定着のため市内保育園、幼稚園などで「朝ごはん」の食育紙芝居を行い、保護者には食育だよりを配布しています。